

【別表】福島市保育所保育実施基準

分類 番号	基本指数…保護者の状況(同居親族、その他の者が児童の保育に当たれない場合)				
	事由	細目	適用		
1	就 労 (自 営 含 む)	月間20日(週5日)以上の 就労	休憩時間を含む就労時間が1日8時間以上もしくは週40時間以上	19	
			休憩時間を含む就労時間が1日7時間以上8時間未満もしくは週35時間以上	18	
			休憩時間を含む就労時間が1日6時間以上7時間未満もしくは週30時間以上	17	
			休憩時間を含む就労時間が1日5時間以上6時間未満もしくは週25時間以上の就労	16	
			休憩時間を含む就労時間が1日4時間以上5時間未満もしくは週20時間以上の就労	15	
		月間16日(週4日)以上 20日未満の就労	休憩時間を含む就労時間が1日8時間以上もしくは週32時間以上	18	
			休憩時間を含む就労時間が1日7時間以上8時間未満もしくは週28時間以上	17	
			休憩時間を含む就労時間が1日6時間以上7時間未満もしくは週24時間以上	16	
			休憩時間を含む就労時間が1日5時間以上6時間未満もしくは週20時間以上	15	
			休憩時間を含む就労時間が1日4時間以上5時間未満もしくは週16時間以上	14	
		月間13日以上 16日未満の就労	休憩時間を含む就労時間が1日8時間以上もしくは週24時間以上	17	
			休憩時間を含む就労時間が1日7時間以上8時間未満もしくは週21時間以上	16	
			休憩時間を含む就労時間が1日6時間以上7時間未満もしくは週18時間以上	15	
			休憩時間を含む就労時間が1日5時間以上6時間未満もしくは週16時間以上	14	
		2	求 職 活 動	就労予定 ※採用予定の就労証明書がある場合に限る。	上記に 準ずる
				常態として求職活動中 ※月間64時間未満の就労を含む。	12
3	出 産	妊娠中または出産後間がない	14		
4	疾 病 等	入 院	長期間(おおむね一か月以上)の入院を要する	20	
			自 宅 療 養	常時病臥・重度の感染性疾患	20
		精神性疾患		17	
		一般療養(安静または週3日以上通院)		16	
		一般療養(その他)		12	
		心 身 の 障 害	障害者手帳1・2級、療育手帳A、精神障害者保健福祉手帳1・2級	20	
			障害者手帳3級、療育手帳B、精神障害者保健福祉手帳3級	18	
障害者手帳4級またはこれに準じる診断内容	16				
5	介 人 護 等 の	入院等付き添い	常時付き添い介護	19	
			週4日以上	16	
		自 宅 介 護	寝たきり高齢者・重度心身障害者等の常時介護	18	
		障害児(者)の介護	通院・通所、通学の付き添い介護	17	
6	災 害	火災等による家屋の損傷、その他災害復旧	20		
7	就学・技能習得	常態として日中7時間以上の就学等(月平均時間)	18		
		常態として日中6時間以上の就学等(月平均時間)	17		
		常態として日中4時間以上の就学等(月平均時間)	16		
8	市外在住	福島市外に在住している ※転入予定者は除く。	4		
9	母子・父子家庭	ひとり親家庭の場合(上記の基本指数に加えて加点)	19		
10	特 例	その他(前各号に類する状態にあると認められる場合)	20		

調整指数(加算分)		
保護者不存在(里親を含む)の場合		+5
母子・父子世帯	保育することができる65歳未満の同居親族がいない場合	+3
	保育することができる65歳未満の同居親族がいる場合	+1
保護者が単身赴任等で不在の世帯	保育することができる65歳未満の同居親族がいない場合	+3
	保育することができる65歳未満の同居親族がいる場合	+1
兄弟・姉妹関係	兄弟・姉妹が同時に同じ施設への入所を希望する場合またはすでに兄弟・姉妹が在籍している施設への入所を希望する場合(入所した場合、同時に兄弟・姉妹が同じ施設に在籍することとなる場合に限る。)	+3
	同一世帯に、申請児童以外に小学校就学前の兄弟・姉妹がいる場合(申請児童が入所した時点で小学校就学前である場合に限る。) ※申請児童以外の小学校就学前児童1名ごとに右記の指数を加算。	+1
保護者が常態として24時間勤務の交代制就労をしている場合※夜勤のみや月1、2回程度の交代制勤務は除く		+1
保護者が常態として同伴就労をしている場合 ※常時危険物(大型機械・劇薬・火気・刃物等)を取り扱う場合に限る。		+2
生計中心者の失業により就労の必要性が高い場合		+3
保護者が保育士等として就労中、または就労予定の場合 ※保育の需要に応じる保育施設が不足している場合に限る。	福島市内の認可保育施設で常勤の場合	+5
	福島市内の認可保育施設で非常勤の場合	+3
	市外の認可保育施設で常勤の場合	+3
	市外の認可保育施設で非常勤の場合	+1
	福島市内の放課後児童クラブで常勤の場合	+3
	福島市内の放課後児童クラブで非常勤の場合	+1
	認可保育施設以外の児童福祉施設等で勤務の場合	+1
転所希望	兄弟・姉妹と同施設希望や転居等による転所希望の場合	+3
	小規模保育事業の卒園児童が転所希望の場合	+35
	小規模保育事業卒園児童の転所希望が、連携施設の場合	+5
	それ以外の場合 ※入所した当該年度内に限る。	-3
前年4月～現年3月までの一年度間(合計12か月)以上、継続して待機している場合		+1
基本類型以外に保育を必要とする事由がある場合(事由一つにつき加算) ※基準指数16点以上相当の事由に限る。		+3
関係機関(児童相談所等)から、緊急の支援が必要であると依頼があった場合等		～+20
事情により、育児休業の延長を希望し、指数を減点した上での利用調整を行うことを承知する場合		-15
保育することができる65歳未満の同居親族がいる場合(1名につき加算)		-1
やむを得ない事情等がなく、内定辞退した場合 ※辞退した当該年度内に限る。		-1
保育料の滞納があり、督促や催告に対して誠意ある対応がみられない場合		-5

同点の場合の優先順位	
①	保護者が市内認可保育施設の保育士等として就労中、または就労予定の場合(保育の需要に応じる保育施設が不足している場合に限る)
②	保護者が養育している子ども(満18歳未満)の人数が多い世帯
③	希望順位が高い者
④	保護者の市民税所得割合計が低い場合
⑤	別表による保護者の基本指数の事由によるポイントが高い世帯
⑥	保育料の滞納がない世帯
⑦	産休・育休の復帰時期が早い場合
⑧	待機期間が長い場合

(別表)

⑤保護者の基本指数の事由によるポイント …次のポイントが高い世帯を優先			
事由	ポイント	事由	ポイント
災害	9	病人等の介護等	5
母子・父子家庭	8	就学・技能習得	4
疾病等	7	出産	3
就労	6	求職活動	2

同点の場合の優先順位①から④までで決めきれなかった場合⑤のポイント表に基づき、父母の基本指数の事由のポイントを合計し、高い世帯から優先する。